

今年の目標

石田奈奈子さん

(正法寺)
(平成6年生まれ)



今年は、小学校生活で最後の年になります。私は次の2つの目標を立てました。1つ目は、私が今、がんばっている金管バンドクラブでの活動です。毎年夏に行われる大会で、今年こそはいい結果を出して全国大会に行くことです。そのためにも、みんなでがんばって練習していきたいです。2つ目は、4月には最高学年の6年生になります。友達と協力して、何事にも一生懸命に取り組んでいきたいと思います。

「出会い」の中から...

中西 雅史さん

(出石町分)
(昭和57年生まれ)



私は高校を卒業後、地元の会社で働き、今では責任を任されるまでになりました。仕事を通してたくさんの「出会い」があり、仕事が順調に進み、完成した時の充実感を味わっています。しかし、時には自分の思いや考えがうまく伝わらず、悩んだこともあります。そんなとき、私を励まし、支えてくれたのが同僚であり家族や友人です。たくさんの人との出会いの中で、私は大きく成長してきました。私も人に優しく思いやりが持てるように頑張りたいと考えています。

謹賀新年

今年^{いぬ}は戌年。年男・年女の方々を代表して、10人の方に抱負を語っていただきました。皆さんにとって良い年になりますように...

新しい生活

平井真理子さん

(日高町野々庄)
(昭和57年生まれ)



短大を卒業して就職し、気が付けばもう24歳になります。そして、11月に結婚して新しい生活がスタートしたばかりです。今までは親に甘えていた部分も多かったけど、今年は自分でいろんなことに挑戦したいと思います。今は料理も勉強しながら楽しくやっています。仕事でも家庭でも今しかできないことを悔いの残らないよう時間を大切にしていきたいです。また、豊岡の自然が好きなので夫婦そろっていろいろな場所に出かけようと思います。

本当に大切なもの

芹澤 智美さん

(城崎町桃島)
(昭和45年生まれ)



三十路になってからの6年はあっという間。10代の私、20代の私が想像していた36歳はもう立派な大人になっている。でも実際は時間に追われているばかりの私。この節目の年に時間を追えるようになりたいものです。台風23号を経験して本当に大切なものを改めて悟った気がします。大開通りの「がんばらーで」「負けんとかーで」の方言まる出しのメッセージ。涙が溢れる思いで見つめていたのを思い出します。毎日忙しい一日を過ごしていますが、自分にも我が子にも他人の何気ない一言にも心を通わせられる心が持てるようになりたいと思います。

もう折り返し！

間宮 元章さん

(但東町唐川)
(昭和45年生まれ)



「えっ！もう36歳」、あのころは「そんなおっちゃんにはなれへんわ」と思っていたけど、月日が経つのは早いもので、2・3年前からおなかの肉が気になりだした今日このごろです。昨年は地域の体育委員、小学校PTAの学年委員と活動していき、多くの方に協力していただきました。活動することにより自分の意識改革になりました。この年になってもう折り返し地点、今年も家庭に地域社会に仕事に一日一日を大切にしていきたいです。

趣味を生かして

中嶋寿満子さん

(出石町片間)
(昭和9年生まれ)



長い人生2度も大水害に遭い、本当に辛い思いをしました。でも、大勢の人に助けられ、早いもので2回目のお正月を迎えることになりました。おかげで今のところ健康で茶道や花道などの趣味を生かし、地域の皆さんとのふれあいを保ちながら一日一日を大切に過ごさせていただいています。年を取ってもまだまだやりたいことがあり、命ある限りがんばりたいと思います。今年こそ良い年でありますようにお祈りいたします。

但馬百景まであと十景

児玉 晶仁さん

(立野町)
(大正11年生まれ)



平成3年「但馬三十六景」、平成13年「但馬百景上巻五十景」を完成しました。ただいま旧御所の湯の絵画の制作に取り組んでおり、2006年戌年に「下巻五十景」を完成するつもりです。葛飾北斎は、「富嶽三十六景」を72歳ごろ出版し、「富嶽百景」の初稿は、75歳の時だったようです。北斎は、90歳まで長生きされたそうです。私も北斎にあやかり、次の戌年96歳まで生きて、「円山川二十景」、「美人画二十景」を描きたいと思っています。

新たな気持ちで

木下 恒男さん

(日高町鶴岡)
(昭和21年生まれ)



酪農に携わって35年になりますが、何年たっても生き物を飼うことの難しさを感じています。特に台風23号の水害の後始末と復旧に追われ、心身ともに疲れて復旧を断念しようかと思ったこともありました。従業員を始め多くの方に励ましや支援をいただき、何とか元の姿にすることができました。お世話になった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。還暦の年にあたり初心に戻って自分の健康や乳牛の健康にも十分気を配り、新鮮で安全なおいしい牛乳を生産したいと思っています。

2006年 戌年



こころに余裕を！

戸田美和子さん

(上佐野)
(昭和33年生まれ)



あっという間にまた戌年がやってきました。両親の介護に加え息子の大学受験ということもあり、1日がとても短く感じ、干支の年だということすら意識する余裕がもてませんでした。幸いに介護制度が充実したこと、担当の方々が親切なこと、そして家族や親しい方が協力的であることに感謝しています。娘の底抜けな明るさにホッと一息！「心に余裕を持てる」年を目標に、他界した里の母の分まで長生きし次の戌年も笑顔で迎えられればと思います。

地域とともに生きる

谷垣 正寿さん

(竹野町須谷)
(昭和33年生まれ)



早いもので、年男も4回目を迎える羽目になりましたが、この年になっても生き方や人生観がふらふらと定まっていな自分情けなく思うこのごろです。最近、柄にもなく地域のコミュニティ活動などの参加によって、地域のすばらしさやいろいろな問題を考えさせられるようになりました。いいところがたくさん残っているこの但馬で、少しでも何か貢献できればと大それたことを考えております。新「豊岡市」が静かに力強く発展することを願っています。